

平成 28 年度事業報告

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団

◇海王丸パーク◇ (面積:約9.6ha)



◇富山新港臨海野鳥園◇(面積:約4.6ha)



◇富山県新湊マリーナ・新湊マリーナ緑地◇(面積:約13.4ha)



平成28年度は、富山県新湊マリーナでは、新たに日本海側初となる15メートル級のシングルバースを含む37隻分の水上栈橋や10メートル級の57隻分の陸上保管ヤードが増設された。また、海王丸パークでは、昨年度に引き続き、タモリカップ富山大会の開催や富山マラソン2016が開催された。このような施設の拡張整備や大きなイベントの開催などにより、海王丸パークの年間来場者数は、2年連続して100万人を超えた。

当財団としては、今後とも富山県、射水市及び関係団体と連携して、雄大な景観を誇る海王丸パークや日本海側有数の規模を誇る新湊マリーナの情報を全国に発信し、より多くの方々に来場していただけるよう努める。

I 海王丸パークの管理運営

1 パーク内のプランターの植栽、芝生管理、清掃等

(1) 植物管理

- ・芝管理（約1.6ha）
- ・樹木管理（プランター植栽、剪定、害虫駆除、雪囲い等）

(2) 施設管理

- ・清掃（園内、パーゴラ展望室、トイレ、石床面）
- ・自家用電気工作物保安管理、遊具点検

2 日本海交流センターの管理運営

(1) 展示ホール等でのパネル展示

- ① 世界の帆船模型展
- ② 世界が認めた富山湾
- ③ きららか射水の紹介
- ④ 環日本海地域へのゲートウェイ・日本海側の「総合的拠点港」伏木富山港
- ⑤ 環日本海諸国と伏木富山港 など

(2) 施設の利用促進

研修室の会議等への利用、談話室の賃貸

(3) 館内の清掃、機械警備等

3 帆船海王丸保存事業

帆船海王丸を「海に浮かぶ生きた帆船」の姿で保存し、美観を守るため、船体の諸法定検査の受検と定期的な保守点検作業及び整備保存工事を行うとともに、乗船者の安全確保に努めた。

(1) 法定検査等

- ① 船舶安全法にかかる検査 第一種中間検査 平成28年7月6日
- ② 消防設備保守点検 平成28年9月14日及び平成29年3月8日

(2) 日常の保守点検整備

- ① 公開区域の保守整備（清掃、木甲板磨き、真ちゅう磨き等）
- ② マスト・ヤード・セイル等帆装艀装設備の保守、点検、補修及びセイルの製作
- ③ 船体各部の発錆部の補修等

(3) 船体整備等

- ① 船体及び展示マスト・ヤードの塗装
- ② セイルの取付け及び取外し
- ③ 帆装艀装整備
- ④ 電路改装

(4) 災害防止

- ① 船内防災センターにおける24時間集中監視の実施
- ② 射水市消防署との合同火災避難訓練 平成28年7月8日
- ③ 津波・火災避難訓練 平成28年10月22日

4 帆船海王丸公開事業

帆船海王丸船内を一般公開するとともに、展帆ボランティアによる総帆展帆を実施し、「海の貴婦人」と称される優美な姿を披露したほか、ボランティアの養成などを図った。

また、海王丸カレンダー、PR用ミニカレンダー及びリーフレットの印刷配布、ホームページ、Facebook などによる各種イベント情報の発信を行い、帆船海王丸のPRに努めた。

(1) 一般公開

定休日、船体整備期間（11月5日～25日、2月15日～3月10日）を除き、一般公開を実施した。

① 公開時間

区分	期 間	時 間
ア	4月1日～7月15日、9月1日～10月31日 3月11日～3月31日	9時30分～17時
イ	7月16日～8月31日	9時30分～18時
	※ 2月14日に夜間公開を実施	18時～20時
ウ	11月1日～2月14日	9時30分～16時

② 乗船料の減免

ア 無料

- ・海王丸進水記念日 平成29年2月14日
- ・総帆展帆日の小学生、学校行事で乗船する小学生と引率者 など

イ 半額

- ・パワーバレンタインウィーク期間中のカップル 平成29年2月11日～13日
- ・新湊カニかに海鮮白えびまつりとの協賛企画 平成28年10月16日

- ③ 乗船者数 67,830人 一般公開以来の延乗船者数 1,915,825人

年度	乗船者数
平成24年度	59,198人
平成25年度	69,234人
平成26年度	67,127人
平成27年度	74,994人
平成28年度	67,830人

- ④ 乗船料収入 18,622,700円 (平成27年度 20,234,100円)

(2) 総帆展帆とボランティアの育成

- ① 総帆展帆の実施 8回実施、ボランティア延562人参加

回	実施日	参加ボランティア数
1	5月5日	68人
2	5月22日	70人
3	6月19日	61人
4	7月18日	82人
5	7月31日	65人
6	8月21日	69人
7	10月16日	70人
8	10月30日	77人



※ 4月17日、9月18日は中止

- ② ボランティアの育成

ア 育成ボランティア数、登録者数 (平成29年3月末現在)

区分	人数		
新規	男 10人	女 8人	計 18人
登録者数	男 454人	女 261人	計 715人

イ 「ボランティアの集い」を開催 11月19日

ウ ボランティア表彰式 7月18日

区分	人数
海王ゴールド賞	展帆200回以上 6人
海王シルバー賞	展帆150回以上 6人
海王賞	展帆100回以上または 甲板ボランティア500時間以上 7人
紺青賞	展帆50回以上または 甲板ボランティア250時間以上 6人

(3) カッター・セイリング教室の開催

5月3日に計画したが、荒天のため開催できなかった。

(4) 帆船海王丸の縦帆ミニ展帆、満船飾

縦帆ミニ展帆：年10回、国民の祝日及び主要イベント開催日に縦帆4枚を展帆。

4月15日、4月29日、5月4日、6月4日、7月16日、8月14日

8月28日、9月19日、10月10日、11月3日

満船飾：年5回、記念日に国際信号旗を掲揚。

5月5日、7月18日、7月31日、10月30日、2月14日

(5) ホームページ、Facebook等

帆船海王丸に関する情報、海王丸パークで開催される各種イベント情報等を掲載。

(6) 夜間イルミネーション、ライトアップ

イルミネーション：毎日（船体整備期間を除く）、日没時から22時まで実施。

ライトアップ：毎日、日没時から22時まで実施。



5 錬成等事業

帆船海王丸を活用し、規律正しい団体生活を通じて、児童、生徒、青少年の公德心、友愛、協調性及び責任感を体験習得させ、海と港と船に関する理解と知識を広めるため、海洋教室を開催した。

(1) 青少年錬成事業

① 海洋教室の開催

コース別	開催期間	参加団体数	参加者数	主な内容
宿泊コース	4月～10月	27団体	1,191人 (うち引率163人)	船内見学、結索実習 甲板清掃、操帆実習 マスト登り、カッター訓練
日帰りコース		3団体	147人 (うち引率31人)	同上
計			1,338人 (うち引率194人)	



(手旗信号実習)



(カッター訓練)

② 「帆船海王丸絵画コンクール2016」の実施

小学生（射水市内及び呉東地区の小学生）を対象に絵画コンクールを実施し、優秀作品を表彰するとともに、日本海交流センターに展示。

コンクールを通じて、児童の海・港・船に関する理解と知識が深まるよう努めた。

- ・応募数 394作品
- ・入賞作品展示 9月24日～11月4日、日本海交流センターホールで展示
- ・表彰式 11月3日、日本海交流センター第1・2研修室



(下学年の部最優秀作品)



(上学年の部最優秀作品)

6 海事広報活動の普及・推進

- (1) 富山県職員3年目研修「元気とやま体験（短期）研修」の受入
7月5日 5人、7月12日 5人 計2回 10人
- (2) 富山県インターンシップの受入
9月12日～18日 7日間 4人
- (3) 14才の挑戦の受入
10月3日～7日 5日間 5人

(4) 富山高等専門学校学生の受入（海王丸を活用した海事教育）

① 国際ビジネス学科（1年・2年）商学概論Ⅱ・物流概論Ⅱの授業として

・1年 10月12日 45人、引率2人

・2年 10月12日 51人、引率2人

② 商船学科（1年航海/機関コース）海洋実習の授業として

・1年 8月1日 44人、引率3人

(5) 企業研修の受入

7 イベントの実施（主催行事）

(1) ちびっ子天国 in 海王丸パーク（5月3日～6日）

海王丸パーク内にミニ遊園地を展開、県児童クラブ連合会の協力による親子工作教室、フリーマーケット、クラシックCARなど。来場者約10万人。



（ミニ遊園地（ふあふあ））

（親子工作教室・県児童クラブ連合会協力）

(2) 海王丸パークフェスティバル（7月16日～18日）

海の日を記念して、海王丸の総帆展帆や登しょう礼、海上保安庁の巡視船「やひこ」の体験航海などを実施。来場者約4.5万人



（帆船海王丸の総帆展帆）



（巡視船「やひこ」の体験航海）

(3) 秋のファミリーフェスティバル (9月19日)

海王丸パーク内にミニ遊園地を展開。県児童クラブ連合会による親子工作教室などを実施。9月18日～19日を計画していたが、18日は荒天のため中止した。

来場者約6千人。



(親子工作教室・県児童クラブ連合会協力)



(ミニ遊園地 (電動SL))

(4) パワーバレンタインウィーク 2016 in 海王丸パーク (2月11日～14日)

2月14日が「進水記念日」とバレンタインデーであることを記念して開催。

- ・「メッセージ入り記念乗船券」発行、「恋人の聖地オリジナルポッキー」プレゼント。
- ・進水記念日は乗船料無料、期間中のカップルの乗船料半額。
- ・帆船海王丸の夜間公開、冬の星座観察会を実施。
- ・協賛店でバレンタインスイーツを提供。



(バレンタインの電飾)



(冬の星座観察会)

(5) 鯉のぼり掲揚式、花の迷路開園式 (4月15日)

- ・花の迷路の設置 (4月15日～11月3日)

(6) 2016年海王丸カレンダー作成 1,000部

(7) 海王丸ウェディング (5月8日)

(8) 国土交通省「みなとオアシス」登録証交付式 (3月2日)

8 海王丸パークで開催されたイベント

(1) タモリカップ富山大会2016 (海上パレード)



(海王丸船上からの観覧)



(海上パレード)

(2) 富山マラソン2016



(海王丸を背に新湊大橋を登る)



(新湊大橋から海王丸を望む)

◎海王丸パークの年間入込数 1,023,700人

年 度	年間入込数
平成24年度	999,600人
平成25年度	1,003,400人
平成26年度	997,800人
平成27年度	1,075,300人
平成28年度	1,023,700人

II 臨海野鳥園（海王バードパーク）の管理運営

1 野鳥観察指導員の配置による野鳥解説の実施

休園日を除く土・日曜日、祝日は、野鳥観察指導員による野鳥の解説や、観察方法のアドバイスを実施。

また、来園者に野鳥に関する知識を深めてもらうため、観察センター内に野鳥図鑑や関係資料を備えておくとともに、野鳥愛好家が撮影した貴重な写真などを展示。

ホームページ、Facebook 等を活用し、季節によって観察できる野鳥が異なることなども PR した。

2 探鳥会（4回）及び講演会の開催

渡り鳥の飛来時期などに合わせて、野鳥に関する知識の豊富な講師を招いて探鳥会を年4回実施。うち1回は、野鳥に関する講演会も併せて開催。



(1) 探鳥会

回	開催期日
1	4月24日
2	11月13日
3	12月11日
4	3月12日

(2) 講演会 3月12日開催（第4回探鳥会と併せて開催）

(3) 年間入込数 4,310人

(4) 野鳥観察指導員登録者数 39人

III 県営渡船の堀岡発着場における運航補助業務の実施

県営渡船の堀岡発着場における陸上作業員として、3人体制で乗下船する旅客及び車両の誘導その他県営渡船の運航に係る補助業務を行った。

IV 新湊マリーナの管理運営

1 マリーナ施設及び同緑地の管理運営

- ・自走式クレーン保守点検（1回／年）
- ・ジブクレーン保守点検（日常点検）
- ・浮棧橋保守点検（1回／年）
- ・消防設備保守点検（2回／年）
- ・自家用電気工作物保安管理（1回／月等）
- ・新湊マリーナ夜間巡回警備（1回／日）
- ・監視カメラによる監視
- ・新湊マリーナ緑地管理
- ・保管艇管理

2 マリーナ保管・利用状況（平成29年3月末現在 登録数303艇 前年度比+8艇）

(1) 登録数（艇）

	陸置艇	競技用小型ヨット	棧橋係留艇	合計
3月末現在（A）	102艇	83艇	118艇	303艇
保管可能数（B）	157艇	100艇	185艇	442艇
収容率（A/B）	65%	83%	64%	69%

(2) 保管艇内訳（平成29年3月末現在の保管艇内訳）

区分	大型ヨット	モーターボート	競技用小型ヨット	合計
登録数	46艇	174艇	83艇	303艇
割合	15%	57%	27%	

3 タモリカップ富山大会2016

2年連続となるタモリカップが開催され、その開催運営に協力した。



コンセプト不明の白衣集団

のクラスカテゴリーでは、比較的遅い艇が「大会趣旨を理解していない」グループに、比較的遅い艇が「大会趣旨を正しく理解している」グループに振り分けられるのだ。「ヨットレース」を標榜しながら、競うことを推奨していないシチュエーションが、実にタモリさんらしい。ただし、実際にはレースも大いに盛り上がった。つまり、大会趣旨を理解していないチームが、たくさんいたわけだ。その最たる例が、「不覚にも」総合2連覇を達成してしまった「ラッキーレディVIII」（ファースト30 IOD）なのだが、オーナーの船

と楽しんでいる様子だった。

今年は富山と横浜で

横浜大会に先立ち、7月17日(日)には、富山県新湊市の富山県新湊マリーナで、タモリカップ富山大会2016が開催されている。今年は、富山と横浜との2会場での開催となった。

富山でタモリカップが開催されるのは、今年で2回目。第1回は、2014年に富山湾が「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟したことを受け、再年、実現した。富山県セーリング連盟理事長である高桑幸一さんの努力とアツイ想いが実った結果であった。その第1回は41艇の参加（これまでの富山湾でのヨットレースは、多

新湊高校ヨット部などの総勢150人以上が、ボランティアで運営を手伝い、バーベキューパーティーには、2,000人以上が参加したとのこと。まだ2回目だが、早くも富山セーリング界きっての一大イベントとなっている。日本海のヨット界を担う存在として、今後も回を重ねてほしいと思う。

富山の皆さん、たいしま〜

大粒の雨が降るも、良い風が吹き、レースは無事に消化された



4 利用促進等事業

(1) 営業時間の延長（平成 18 年度から）

6 月 1 日から 9 月 30 日までの土日については営業時間を午後 5 時 30 分まで延長。

(2) 利用料金の引き下げ（平成 18 年度から）

小型艇の利用料金を引き下げ、河川等の放置艇が、より移動しやすい料金体系としている。

(3) 海の駅「しんみなと海の駅」として認定（平成 19 年度から）

国土交通省の認定を受け、全国規模のネットワークを生かし情報発信に努めている。

(4) 高圧洗浄機のレンタル（平成 21 年度から）

利用者へのサービス向上のため実施。

(5) 口座振替制度の実施（平成 21 年度から）

マリーナ利用料金の支払いについて、希望者に口座振替を実施している。

(6) 修理ヤード利用料金の無料化（平成 22 年度から）

利用（契約）者に対するサービスとして、修理ヤードの利用料金（日額 2,100 円）を無料としている。

(7) ホームページ及び Facebook（平成 27 年度から）による情報提供

毎日の風向風速・釣果情報・イベント案内・スタッフのブログ等、情報発信に努めている。平成 28 年度からはライブカメラを設置し、ホームページで公開している。



(8) 国際 VHF 無線の基地局設置（平成 24 年度から）

利用者アンケートからの要望により国際 VHF 無線を設置した。これにより、海上にいる利用者へ気象情報や安全情報を提供している。

(9) 一般開放日（平成 26 年度から）

地域に開かれた施設とするため、毎月第 3 日曜日を一般開放日とした。

(10) その他

- ・製氷機の設置（利用者アンケートからの要望等により設置）
- ・ハンドドライヤーの設置（利用者アンケートからの要望等により男女トイレに設置）
- ・モニターツアーの実施（10月22・23日、11月26・27日）

5 マリーナ職員による安全対策

- (1) 構内見回り点検 (1回以上/日)
- (2) 上下架装置の安全点検 (1回/日)
- (3) 荒天時警戒 (保管艇)
- (4) 栈橋貝落とし作業 (1回/年)
- (5) 緑地公園草刈作業 (2回/年)
- (6) 強風時増しもやい作業
- (7) 施設内洗浄作業



6 企画事業

(1) 安全講習会の実施

- ・期 日：4月2日、80人参加
- ・対 象：中学・高校・大学生
- ・講 師：伏木海上保安部職員

(2) 安全講習会の実施

- ・期 日：6月19日、15人参加
- ・対 象：ボートクラブ会員
- ・講 師：伏木海上保安部職員

(3) 各種ヨットレース等の開催協力

- ・大型艇ヨットレース
- ・富山県民体育大会
- ・富山県高校総体
- ・万葉レガッタ
- ・輪島レース
- ・ヨット教室



ヨット教室



ヨットレース



(4) マリーナ周辺地区海岸清掃

- ・期 日：7月3日、20人参加
- ・内容等：海老江地区海岸清掃に合わせて、海竜マリパーク・モーターボートクラブ、県セーリング連盟・各校ヨット部の合同で参加。